

草の根交流海外派遣団レポート

今年度は、草の根交流台湾市民代表団と草の根交流海外派遣補助金で3グループを、海外に派遣しました。そのなかで、11月26日～30日にベトナム・ホーチミン市を訪ねた『沖村草の根交流派遣隊』の梅田喜代一さんのレポートを紹介します。

日本を体験した実習研修生らと再会

沖村 梅田 喜代一

空港出口で私たちを出迎えてくれたのはラン・フォン氏でした。北名古屋市国際交流協会日本語教室での学習者で、実習研修生として働き3年前に帰国して自らが送り出し機関を設立し、そのオーナーとなっている人物です。

彼が案内した5階建のビルでは日本語の授業がされていて、教室に入ると若い学習者らが全員立ち上がり声を揃えて私たちを歓迎してくれました。20分ほど日本について紹介し彼らの期待や夢など質問をしながら授業し終えると、オーナーは「もう一階上がありますから」と告げました。次のクラスでは異なったテーマで講義をすると「まだ上がありますよ」と言われました。そんなことを繰り返しながら全てのクラスを訪問したら2時間が経過していました。どの学習者からも日本への強い思いが感じられました。

送り出しの実習生が昨年230名で今年は300名、来年には400名程度が見込まれるそうです。そのため現施設では収容しきれなくなるので新校舎を準備しているとのこと。

その晩はフォン氏と一緒にホーチミン市の中央を流れるサイゴン川のディナークルーズで会席しました。

翌27日、約束していたフン氏がやって来ました。彼はアイカ工業(株)小牧工場で3年間エンジニアとして勤務し昨年8月に帰国した26歳の青年です。私たちはレストランで彼と懇談しました。この国はドイモイ開放

政策により都市では近代的な高層ビルが立ち並ぶほど発展を遂げてきました。けれども日本を体験してきた彼にとっては現状が必ずしも満足できるものではないようでした。

28日の晩には再びフォン氏と会ってディナークルーズをすることになりました。ホアさんという女性もこの日加わるようになっていました。実習研修生だった彼女は昨年の4月に帰国して結婚しました。その日勤務を終えて夫婦バイクで駆け付けましたが8時の出航には間に合いませんでした。

29日、私たちの帰国便は0時25分なので空港のロビーで時間をつぶしていると、その彼女からメールがありました。「昨日は十分に懇談できなかったから見送りに行きたい。でも、今から2時間掛かります」。

そして彼女らを待って空港のレストランで私たちは懇談することができました。彼女は妊娠3カ月とのこと、次回には赤ちゃんとも会いたいですね。



KIIA 北名古屋市国際交流協会会報

発行者 北名古屋市国際交流協会
Kitanagoya City International Association (KIIA)
〒481-8531 北名古屋市役所(西庁舎4階)
TEL. 0568-22-1111(内線)2400

vol. 36
2020. 4.

北名古屋市

海外PR映像

完成!

『市民が主役』の広報を目指して、北名古屋市と国際交流協会が進めてきた北名古屋市海外PR映像が完成しました。

初めて、北名古屋市として、取り組んだオフィシャル

映像づくりは、市民参加の枠組みを大胆に取り入れ、名芸大の学生の皆さん、市民ボランティアとの協働により制作しました。



た宝物を北名古屋で暮らす市民が見つけ出し、掘り起こし、磨きを掛けました。名芸大の若い力が新鮮な感覚で映像にしました。堤幸彦監督の指導を得て、若い力と市民の力が化学反応し、素晴らしいPR映像が完成しました。

動画は、4分。若い感性が溢れ、笑顔が弾ける『行ってみたいくなる北名古屋』を目指しました。ショート版も編集し、YOUT

ubeから視聴できます。もう一本は、10分。写真と動画で、『誰もがいきいきと安全で安心に暮らせるまち健康快適都市』北名古屋市づくりを分かりやすく紹介することを目指しました。

この3本のPR映像は、英語版、中国語版、韓国語版を作成しており、さまざまな機会を通じて、海外で国内で、『わが北名古屋市』をPRするツールとして活用していきます。



▲こちらから視聴できます。

北名古屋市民国際交流協会会報

第8回 アジア太平洋 フェスティバル

第8回アジア太平洋

フェスティバルを2月8日

に、文化勤労会館で開催

しました。ことしのテーマ

は『インドネシア』。今回の

フェスティバルは、ナゴヤ・

インドネシア文化協会

(PKIN)と共同主催と

なりました。県内に住むイ

ンドネシアの人たちが、マ

イカー、チャーターバス、

タクシー、西春駅からの

シャトルバスなどで参集

し、延べ1300人を越え

る来場者がありました。

過去最大の人数で、1階

も2階も人で溢れていま

した。

ホールでは、ジャワ舞踊

やバリ舞踊が演じられ、美

しい姿を誰もが写真を撮

ろうと絶えずシャッター

音がするほど。サロンやゴ

ンという金属楽器から生



まれる音のうねりが魅力

的なガムランに合わせて、

静かにそして美しく踊る

ようすに来場者らは目を

奪われていました。

インドネシア民族衣装

ファッションショーも開催

しました。公募で集まった

12人の女性たちが、華や

かな民族衣装を身にまとい、対の衣装を着けたインドネシアの男性とともに、会場をゆっくりと歩きました。まるで結婚式のよう

な雰囲気、すこし照れたようすのモデルたち。会場に敷かれたレッドカーペットを進むうち

にすっかりモデルルになりきり、最後はりんとした表情でありさつをしてい

ました。この後、一般来場者のインドネ

シア衣装試着体験もあり、たくさんの方が試着を

して記念撮影をしていました。

草の根交流海外派遣団市民報告会では、台湾と

韓国・ベトナム・グアムの4カ国に派遣された市民が交流のようすを発表

しました。協会オリジナルの地域おこし産品

いちじくの『飲む酢』や『いっちゃんパン』、フェアトレ



ード産品、インドネシア産品などの販売も行われました。ピースでの国旗作りでは、小さなピースを器用につなげていろいろ



な国旗にしていっく子どもたち。安全ピンに付けたピースの国旗をいくつも服に付けて喜んでいました。

2階はアジアフードコーナー。インドネシア弁当をはじめ、バリやジャワの料理がずらりと並びました。日本の五平餅のよ

うな食感のロントンは、ピナツソースがかかっただけですが、甘いだけ

ではなく辛さも入ったスパイスが、来場者らはい

ろいろなものを買い求めて日本との食の違いを楽しんでいました。

小ホール最後の催しは

ダンス演奏。インド

ネシアのポピュラー音楽に合せて、来場したイン

ドネシアの人たちがダンスをしました。小ホールは

インドネシアのクラブと化し、若者たちの溢れん

ばかりの熱気がいっぱいになりました。

ことしもたくさんさんのボランティアの皆さんの協力のもと、フェスティバルは成功裏に終了しました。

Aa 外国語講座を開講します

2020年5月から2021年2月まで、全20回です。気楽にはじめ、国際理解を深めましょう。

- 対象** 市内在住・在勤の方 **受講料** 一般/年14,000円 会員/年11,000円
- 場所** 健康ドーム1階研修室または会議室 **定員** 各講座とも30名(先着順)
- 申込み** 受講料を添えて協会事務局へ申し込みください。なお開講日等詳細はホームページ、事務局でご確認ください。また、お申し込みが15名以下は開講を見合わせる場合もありますのであらかじめご了承ください。

講座	開講日	時間
韓国語基礎	毎月第1・3木曜日	午後7時～8時45分
英会話基礎(昼)	毎月第2・4月曜日	午前10時～11時45分
英会話応用	毎月第2・4水曜日	午後7時～8時45分
英会話基礎(夜)	毎月第2・4金曜日	午後7時～8時45分



各種申し込み お問い合わせ 等は下記までお願いします。
 〒481-8531 北名古屋西之保清水田15番地 北名古屋西役所西庁舎4階
北名古屋市民国際交流協会
 TEL 0568(22)1111 内線2400 FAX 0568(25)1800
 Eメール info@kitanagoya-kiia.jp ホームページ http://www.kitanagoya-kiia.jp
 フェイスブック https://www.facebook.com/kitanagoyakiia

私たちの国際交流

経済交流の 実り豊かに

九之坪 田中 健二

私は前号会報に、韓国への経済交流訪問団の渡航を直後に控え、日韓関係の緊張が高まる中であつても、多様な交流を継続することが重要であり、相互理解と友好が深まる訪問にし、後日、笑顔で帰国したことを報告しますとつづりました。

その後日談であります。行程は10月初旬の金曜日から日曜日の2泊3日の駆け足。初日に韓国・仁川空

港から、今回の目的である訪問団企業と同業種の企業へ直行しました。

こちらの企業は同業種の部門を起点に、現在は、金融やサービス業などに多角化し、韓国10大企業集団の一つに数えられています。

お互いのあいさつの後、率直な意見交換や企業博物館の見学など、訪問先の細やかな対応、心温まるもてなしもあり、2時間の予定が1時間以上も伸び、非常に実りのある交流となりました。

団員からは、予想を上回る訪問先の対応に感謝の声が多く上がり、韓国訪問が初めての団員にも安心して笑顔が見られました。

土日は景福宮、青瓦台、南大門などの定番の観光スポットの他、訪問企業か

らのお薦めもあり、最近、韓国の方々にも人気のスポットになりつつあるソウルの北西にある江華郡の喬桐島に足を伸ばし、軍隊の検問を受けた上で、平和展望台から海峡を挟んだ北朝鮮を展望するという貴重な体験もしました。

今回は、明洞駅近くのホテルに滞在しましたが、団体行動だけでなく団員一人ひとりも夕食後の散策、買い物などの自由行動では、韓国の方々も身振り手振りでコミュニケーションを取り、街中でも自由に安心して過ごし、無事にセントレアに帰りました。

この小稿を書いている2月に、韓国のアシアナ航空が名古屋ーソウル線就航30周年を迎えたそうです。私どもの交流も末永く続くものと確信しております。